

令和4年度 防災・BCP実務研修会

◇日時 令和4年7月29日(金) 午後2時から午後4時まで

◇場所 ハイブリッド方式(実出席 愛知県生協連 会議室)

◇研修目的

県連及び会員生協の自然災害に備える防災、減災対策推進(役職員の防災意識向上)を目的として、開催いたしました。

＜主催 防災幹事会＞

◇研修内容

①学習会 「長野県災害時支援ネットワーク」立ち上げと、
台風・豪雨災害での連携について

②報告会 コープあいち・東海コープ災害対策マニュアル・BCP
について

◇参加 17名(12生協15名、事務局2名)

コープあいち1名、一宮2名、あいち1名、トヨタ1名、かりや愛知中央2名、愛知県職員1名、トヨタ車体2名、愛知県警察職員1名、南医療1名、名古屋市民火災共済1名、大学事業連合1名、アイチョイス1名

◆学習会

長野県災害時支援ネットワーク」立ち上げと、台風・豪雨災害での連携について

＜講師：長野県生活協同組合連合会 事務局長 中谷隆秀様＞

- ①長野県生協連と災害支援の活動の関り
- ②災害前にはどんなことをしていたのか？
- ③災害発生 2019年10月13日の朝から
- ④情報共有会議の開催と集まる被災地の情報
- ⑤発災時の社協の動きと災害ボランティアセンター
- ⑥オペレーション「ONE NAGANO」の成果
- ⑦日本生協連を通しての全国の生協への支援要請
- ⑧全国の生協からの支援者の活躍
- ⑨農ボラ支援チーム
- ⑩復興にむけてのあゆみ
- ⑪第3回災害時の連携を考える長野フォーラム
- ⑫これからの課題とまとめ



こんにちは！長野県生協連です！①

「長野県災害時支援ネットワーク」立ち上げと、台風・豪雨災害での連携について



長野県生活協同組合連合会 事務局長
長野県災害時支援ネットワーク 幹事
中谷隆秀(なかたに たかひで)

◆学習会を通してして考えたこと

- ・自然災害に備える防災・減災対策の推進については、過去の災害から教訓を学び、特に風水害などの自然災害に対しては平時からしっかり準備をしておく。
災害時に緊急に対応できることが大切。
(日頃から防災・減災意識の向上に努める)
- ・被災者、被災地支援は「生協」の基本的使命。
- ・安心してらせる地域社会づくりの実現に向けて、行政・諸団体とのコミュニケーションを絶やさないこと。
- ・情報共有会議には積極的に参加し、災害発生時には重要な役割を担う。
- ・生協の強みは組合員組織であり、地域で災害支援ができる宅配のしくみは、他企業にはできないことを自覚する。
- ・長野県生協連のように、行政から相談される立場にありたい。

◆報告会

コープあいち・東海コープ災害対策マニュアル・BCPについて
〈報告:コープあいち 柴山 実(防災委員会 幹事)〉

-21年度BCP関係の取り組み

- BCPチームの発足
- BCPチームにより新城センターでの訓練
- 通信訓練、風水害対策訓練(紙上訓練)
- 発電機稼働訓練、災害対策本部立ち上げ訓練
- 各種BCPの作成・改定・県連、会員生協の役割と連携

-22年度取り組みの改善へ

- 訓練等はわかりやすく
- 通信機器、非常用発電機など、いろいろ配備しているものがいざという時にしっかり役立つように